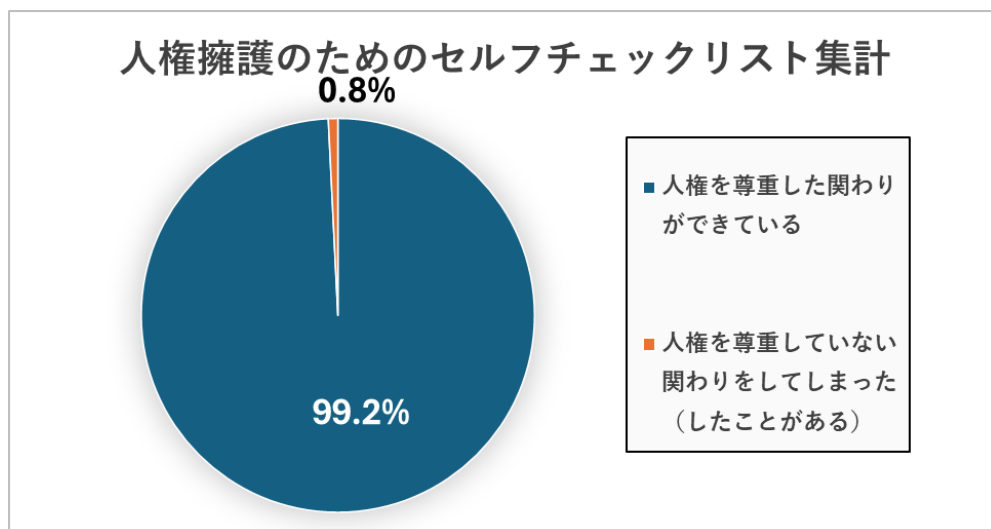


**北山保育所** 人権擁護のためのセルフチェックリストの実施結果（令和7年6月実施）  
全国保育士会が作成した「保育所・認定こども園における人権擁護のためのセルフチェックリスト  
～「子どもを尊重する保育」のために～」を使用しました。



全設問に対して99.2%が望ましい対応をしていることが分かりました。0.8%の望ましくない対応は主に次の2項目に見られました。

子どもが保育者に話しかけた際、「いま忙しいから後にして」と言う。

上記の項目については、職員間で確認したところ、子どもたちが話したいことがある時にすぐに対応できないことがある、との声がありました。子どもたちへなぜ待っていて欲しいのかを状況説明することで、見通しを持てるようにする、子どもたちが待ってくれていた後には、「待っていてくれてありがとう。」などと声をかけ、話すことが大切だと共有しました。引き続き、子どもたちの今話したいという気持ちを大切にしていきます。子どもたちが、待っていてくれたことに誠意を示し、約束を果たせるようにしていきたいと思います。

少食の子に対して、子どもの意見を聞かず、初めから非常に量を少なくして配膳する。

上記の項目については、子どもたちの個々の量を配慮した上で、空っぽにした喜びを感じることができるよう個別対応をしています。食事全般を減らすのではなく、個々の食事の様子を把握した上で対応していくことを確認しました。子ども自身の苦手なものをたくさん盛りつけてしまうことで、その子の食べる意欲を奪ってしまうこともあります。子ども一人ひとりが楽しく、食べられたという自信につなげていけるような声かけをしていきます。食事の時間が楽しくなるよう、声かけや雰囲気作りを行い、個々の気持ちを尊重し、子どもたち一人ひとりの気持ちを大切にしていきたいと思います。

セルフチェックを続けることで、職員間で日々の保育を確認し合ったり、改善点を共有することができていると感じています。上記に挙げた点以外にも一人ひとりが意識し、気づきはその都度共有、改善できる関係を深めていきます。